

北海道企業局による、既存水路に設置可能な小水力発電の普及啓発



発電施設の外観

稼働中の
水車

水車設置作業の様子

＜概要＞

- 事業実施主体：北海道企業局
- 発電設備：沼^{ぬま}の沢^{さわ}取水堰発電所（北海道夕張市）
小水力発電
発電出力 20kW
発電電力量 11.4万kWh/年（計画値）
- 建設費：約6,000万円
- 運転開始時期：平成31年4月

＜特徴＞

- 水資源の有効活用と市町村等への普及啓発を目的としたモデル事業として、北海道企業局が自ら所管する水路を活用して小水力発電所を建設。
- 低落差、低流量でも発電可能で、水路の大がかりな改造を行わずに設置できる垂直2軸クロスフロー水車を道内で初めて導入。土木工事費を低減し、現地工事期間も短縮。
- この水車は農業用水路にも設置しやすく、売電収入や、監視カメラ等の電源としても利用できる等のメリットを発信し、類似施設への導入検討に繋げたい意向。